

学校給食費の公会計化について

1. 目的

学校給食費は、現在、本市においては各学校で徴収しているが、管理業務の負担が大きい。そこで文部科学省が令和元年7月に公表したガイドライン（地方公共団体が学校給食費を公会計化し、自ら管理業務を行う）に沿って公会計化へ移行することで、学校給食費の透明性を高めるとともに、教職員の負担軽減や管理業務の効率化等を図る。

2. 効果

(1) 教職員の業務負担の軽減

学校給食費の徴収・管理業務を市に集約することにより、授業改善のための時間や児童・生徒に向き合う時間を増やすことができる。

(2) 保護者の利便性の向上

市の指定金融機関等のいずれからでも学校給食費の振替を実施できる。

(3) 学校給食費の徴収・管理業務の効率化

学校給食費を管理するシステムを導入することで、効率的に管理することができる。

(4) 学校給食費の透明性の向上

学校給食費を市会計に組み入れることで、学校給食費の執行管理における透明性を高めることができる。

(5) 学校給食の安定的な実施

食材調達費が市の予算の中で適切に確保され、生鮮食材等の価格が高騰した場合においても、安定的に学校給食を実施することができる。

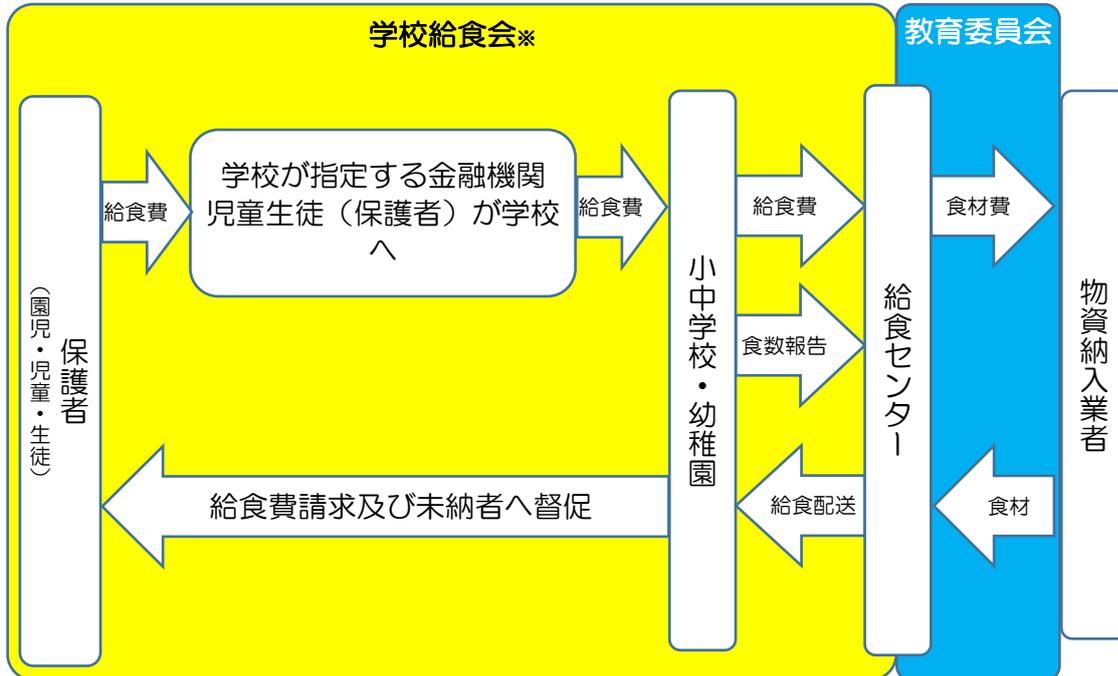
3. スケジュール

公会計化開始予定 令和4年4月1日～

項目	令和元年度 (2019)	予定			学校給食費公会計化 開始
		令和2年度 (2020)	令和3年度 (2021)	令和4年度 (2022)	
給食費徴収・給食管理システム仕様策定					
給食費徴収・給食管理システム開発					
給食費徴収・給食管理システムテスト運用					
食材調達方法の整理					
出雲市学校給食会の業務の継承					
保護者への周知 (公会計化、口座振替手続等)					

学校給食の運営体制フロー図

【現行：私会計】



※出雲市学校給食会へ学校給食の管理運営業務を一部委託

【学校給食会廃止後：公会計】

